

# うなばら

題字：第10代校長 小池守夫 様



発行：新潟市立五十嵐小学校

〒新潟市西区寺尾西 4-23-1 (〒950-2064)

Tel.025-269-3117(代) Fax.025-269-3118

E-mail : e710ikarashi@city-niigata.ed.jp

HPアドレス : <http://www.ikarashi-e.city-niigata.ed.jp/>

## ファストパス

校長

「平成最後のイカフェスをみんなで協力して盛り上げよう！」をスローガンに、児童会まつり“いからしハッピーフェスティバル”が行われました。まつりでは、3年生以上の学級が出店を開きます。2年生が児童玄関の飾り付けをします。1年生がまつりを祝う出し物をします。全校が協力してまつりを盛り上げます。

児童会まつりを前に、代表委員会が開かれました。代表委員会には、各委員会の委員長と3年生以上の学級代表の児童が参加します。今回は、代表委員会のために、学級で事前に話し合うことがいくつかありました。その一つが「ファストパスはあった方がいいか？」でした。ファストパスとは、並ばずに出店に入れるパスで、抽選で当たった人に贈られるものです。

代表委員会では、パスを実際に使った人の感想、使用することのよさや心配、確認すべきルールなどで、「不公平感がある」「みんなで一緒に楽しめない」「仲のいい友達と一緒に使えない」「このままではやめた方がいい」といった意見が出されました。私は、子どもたちの意見を聞いてとても感心しました。各学級でパスの有無、使い方の賛否を話し合うことで、まつりの楽しみ方や協力の仕方考えることができていたからです。

今回のように、みんなが疑問に思っていることや誰かが困っていること、心配なことを取り上げて話し合うことは、活動の目的や運営方法を再確認するためには必要です。(その後、パス使用のルール変更があり、抽選で一学級にパスが贈られました。)

私は、この話合いの続きを考えています。なぜなら... この先は、子どもたちに気付かせたいと思います。



## トピック五十嵐

11月3日(土)に行われた「わかくさアートフェスタ」について児童が書いた感想を紹介しします。

アートフェスタでは、どの学年も、立派な音楽発表と絵画作品を披露しました。

また、PTA役員の皆様をはじめ、保護者、地域の方々の御協力で、アートフェスタを盛り上げていただいたことに、深く感謝いたします。

## がんばって、よかったよ

2年

教室にかざられた自分の絵を見て、今までかいた中でいちばんよくできた絵だと思いました。

ぼくの絵のしゅじんこうは、ペンギンです。ペンギンの足の先をとがらせて、形をはっきりさせました。色は、ぼくのすきな青にしました。ペンギンたちがさんぼしているようすをかいて、とても楽しかったです。

音楽はっぴょう会では、けんばんハーモニカで「小ぎつね」をまちがえずに、しきをよく見てできました。体いくかんにたくさんの人がいてきんちょうしましたが、はっぴょうがおわった時にいい気持ちになりました。みんなの音を合わせることができたからです。がんばってれんしゅうしてよかったです。

## 楽しかった、アートフェスタ

2年

わたしの絵のだい名は、「くらげのせかい」です。くらげの形を作って、ローラーでうっしました。いろいろな色をつかってうっしたので、すごくきれいでカラフルなくらげができました。お母さんたちにも、「色がきれいだね。」とほめられてうれしかったです。友だちの絵は、くだものやおかしなどアイデアいっぱいでした。たくさんのくふうがあって、みていて楽しかったです。

音楽はっぴょう会では、けんばんハーモニカをまちがえないでえんそうすることができました。また、きれいな声で歌うこともできました。みんなといっしょにできてうれしかったです。3年生でもみんなで楽しいはっぴょうをしたいなと思います。

## 学校の一コマ

## 笑顔無限大

～地域と学校ウェルカム参観日～

主幹教諭

12月1日(土)に「地域と学校ウェルカム参観日」を実施しました。「笑顔無限大」をテーマに、今年度も新潟大学と連携を図り、二部構成で行いました。

第一部は、「全校児童！スマイルドミノチャレンジ」。新潟大学・学生団体 CANs の協力のもと、縦割り班が体育館と教室に分かれてドミノ倒しに挑戦しました。体育館では1万個のドミノを長くつなげてゴールを目指し、教室ではデザイン性のある作品と立体ドミノに挑戦・成功し、達成感を味わうことができました。異学年交流で目指している互いに協力し合い目的を達成する姿をご覧いただけたと思います。

第二部は、6年生児童による「五十嵐フォーラム」。「防災ミーティング」と題して、避難や避難所について二つのテーマを24のグループに分かれて話し合いを行いました。新潟大学を中心とした大学生ボランティアが、6年生から多様な意見を引き出したり助言をしたり、進行役として参加しました。6年生が活発に意見を交換し合う姿に、参観した保護者・地域の方も感心されている様子でした。

今回協力してくれた大学生ボランティアはおよそ120名。今後も新潟大学との連携を図りながら、子どもたちの学びを深め、「笑顔無限大」の学校づくりに取り組んでいきます。

悪天候にもかかわらず、多くの保護者・地域の皆様から

ご来校いただき感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

